

令和元年7月22日
内閣官房行政改革推進本部事務局

本年度の取組

- 平成30年度は、各府省においてEBPMの観点から政策の検証(ロジックモデル等のブラッシュアップ)を行い、政策の新規立案や見直しに反映した実例創出を実施
- 本年度においても、EBPMの推進・定着の観点から、引き続き各府省において実例創出を実施する
- その際、各府省の政策立案総括審議官等(以下「政立審」という)においては、政策立案過程の節目節目で、原局に対し、EBPMの思考プロセスの指導などの積極的な助言・支援を行う

特にお願いしたい点

- 昨年度は、実践事例の多くが、部局内や政立審など政策立案過程の一部の機会でのブラッシュアップにとどまっていたことから、本年度は、政策立案過程における様々な機会(部局内の議論、政立審、会計課等の省内関係部局との議論、審議会委員、財務省主計局、行政事業レビューの有識者、EBPM有識者・参考人等の省外関係者との議論など)を活用して、逐次ロジックモデル等のブラッシュアップを行う
- 特に、いくつかの実践事例については、予算プロセスを活用したロジックモデル等のブラッシュアップを実践することについて財政当局と連携。なお、本実践結果や課題等については、今後のEBPMと予算プロセスの融合に向けた議論に資するよう、年明け以降にヒアリングを実施